

「熱中症特別警戒アラート」とは？

今年の6月24日から環境省が「熱中症特別警戒アラート」の運用を開始しました。

＜熱中症特別警戒アラートが発表されたら＞

- ・広域的に過去に例のない危険な暑さ等となり、人の健康に係る重大な被害が生じるおそれがあります。
- ・自分の身を守るだけでなく、危険な暑さから自分と自分の周りの命を守ってください。
- ・普段身掛けている熱中症予防行動だけでは不十分な可能性があるため、より一層気を付けて準備や対応が必要となります。

都道府県内において全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の日の最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値)に達する場合等に発表されます。

詳しくは「熱中症予防情報サイト」を確認してみてください。



編集後記 みなさまこんにちは！保健編3号、7・8

月号を担当しました敬愛クレヨン保育園看護師です。
最近5歳の息子の歯が抜けました。真横に倒れ今にも取れる状態でも頑なに触るのを拒否し自然に抜け落ちるまで根気強く待っている息子。そんな息子の姿から性格を知ることができたり、我慢強い姿を見せてくれたり様々な姿を全力で見せてくれるなど改めて思いました。保育園のお子さま達の素敵な姿も沢山見たいなと思いました。

おしえて♥ナース AED間違って覚えてない？

1. AEDでいう成人は20歳以上を指す→誤解です
成人用パッドや成人用モードの対象は小学生以上を指します。
2. 妊婦へはAEDを使用してはいけない→誤解です
妊婦にも使用できます。妊婦にAEDを使用することは胎児の救命にも繋がります。
3. AEDの使用には資格や講習が必要→誤解です
使う人は資格は不要です。医師や看護師だけが使えるものではなく、一般市民も使うことができます。
4. AEDはいつまでも使える→誤解です
機種ごとに寿命があります。耐用期間は7年～8年の機種が多く、期間が来たら交換をします。
いざという時に大切なAED。AEDマップで周辺のごとにAEDがあるか知ることができます。

敬愛学園

URL : <https://www.keiaigakuen.com>

敬愛こども園	Tel.042-663-4017
敬愛高倉保育園	Tel.042-645-6057
敬愛フレンド保育園	Tel.042-678-2921
敬愛たかお保育園	Tel.042-667-1077
敬愛きたの保育園	Tel.042-646-1631
多摩境敬愛保育園	Tel.042-775-1470
敬愛桃の実保育園	Tel.042-770-1113
みなみ野敬愛保育園	Tel.042-637-5265
敬愛ハーモニー保育園	Tel.042-646-5060
敬愛クレヨン保育園	Tel.042-669-0161
敬愛シンフォニー保育園	Tel.042-669-5501

保育園は身近な子育てのパートナーです。
お気軽にお尋ねください。
健やかな子は敬愛学園HPでもご覧になれます。

Keiain

けいあいがくえん

健やかな子

保健編3号
令和6年度
7・8月号



水の事故で
気を付けること
ってなに？

「熱中症特別
警戒アラート」
とは？

おしえて♥ナース
AED間違って
覚えてない？

Social Welfare Corporation
Keiai Gakuen

水の事故で気を付けることってなに？



夏の楽しみといえば海や川、プールを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。でも、小さな子どもの水難事故が増えるのも、この時期です。みなさんは子どもが溺れる時、大きな音でばちゃばちゃともがいて「助けてー」と叫ぶ…そんなイメージをお持ちではないでしょうか？しかし実際には、子どもは静かに溺れるとされています。



<溺水防止の考え方>

- 子どもだけで水に近づかない、近づかせない工夫を
- 子どもが水に接する場合は、大人は目を離さず、手の届く範囲で見守りを
- 水に関する危険と対処法を学習し、事前の準備を

<家庭での『子どもの水の事故防止』のポイント>

- 大人が洗髪する際には、子どもを浴槽から出しましょう。浮き輪の使用中でも事故が発生しています。
- 子どもは大人の後に浴室に入れ、先に浴室から出しましょう。
- 子どもだけで入浴しないようにしましょう。
- 子どもが小さいうちは、入浴後は浴槽の水を抜くことを習慣にしましょう。
- 使用後の洗濯機、洗面器、バケツに水をためたままにしないようにしましょう。

乳幼児不慮の事故の順位

- 1位 窒息
- 2位 交通事故
- 3位 溺水

不慮の事故は入浴中におこることが多いです！

0～1歳では浴槽での溺死、より活動的になる5歳以上では自然水域での溺死が最も多く発生しています。浴槽での事故の主なシチュエーションとして

- お家の方が頭や体を洗っている時



- きょうだいがお風呂からあがり、大人が兄弟の体を拭いている時

- お家の方が自分の体を洗うために赤ちゃんに首つけ浮き輪をつけ1人で浴槽に入れていた時

ほんの少し大人が目を離した時に溺水事故は起こります。

<海・川・プール等での水の事故を防止するポイント>

1. ライフセーバーや監視員等がいるなど適切に安全管理が行われているところを選びましょう。ライフジャケットを使用しましょう。
2. 海や川の状況は、日ごと、時間ごとや天気ごとに変化します。子どもを遊ばせている時には子どもから目を離さずに手の届く範囲で見守りましょう。
3. 熱中症警戒アラートなどの情報を確認しましょう。
4. 体調がすぐれない場合は遊ぶのをやめましょう。保護者が体調の確認をするようにしましょう。

